

収入計算書〔前年（2019年1月～12月）用〕

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、前年の収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行うとともに収入にかかる証明書を裏面に貼付（父母等からの給付額がある場合は裏面に記載）いたします。

○進学予定学校名 _____ 大学 _____ 研究科 _____

○進学予定課程（該当の数字に○）：

1. 修士・博士前期課程 2. 博士後期課程 3. 博士医・歯・薬（4年制）・獣医学課程 4. 法科大学院

○申込者氏名 _____

○学籍番号 _____

[各項目1万円未満切捨て]

1. 前年（2019年1月～12月）の収入額		
	収入項目	収入額（A）
定職 (○)	定職（本人）	(年額) _____ 万円
	定職（配偶者） [該当者のみ]	(年額) _____ 万円
アルバイト (○)	アルバイト1	(年額) _____ 万円
	アルバイト2	(年額) _____ 万円
	アルバイト3	(年額) _____ 万円
	父母等からの給付額（★）	(年額) _____ 万円
	奨学金	(年額) _____ 万円
	・その他の収入（利子・配当・不動産・年金等の公的手当・預貯金の取崩し等）	(年額) _____ 万円
ア	収入額合計（※）	(年額) _____ 万円



2. 申込者本人1人にかかる前年（2019年1月～12月）の支出額 [申告のみ：支出についての証明書類不要]	
支出項目	支出額
日常生活費（食費・住居費・光熱費等）（☆）	(年額) _____ 万円
授業料	(年額) _____ 万円
通学費（定期代等）	(年額) _____ 万円
その他の費用 （書籍費・遊興費・課外活動費等）	(年額) _____ 万円
支出額合計（※）	(年額) _____ 万円

[記入時の注意事項]
 ◎複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは1・2に記入後、3に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。
 ★計上する場合、前年用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署が必要です。
 ☆自宅通学者は、世帯一人当たりの経費（世帯年間経費／家族人数）を記入してください。

※「収入額合計」≧「支出額合計」とならない場合は、記入の誤りがないか再度見直してください。

収入額合計は、0万円にならないよう記入してください。

※2021年1月～2月に申し込む場合でも「前年」は2019年となります。

[裏面に収入欄に記入した収入証明書を貼付]

前年用（裏）

証明書類貼付欄

〔収入に関する証明書のみ貼付〕

- ・証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホチキスで上部2点を留めてください。

学校指定の様式がある場合は、そちらに貼付してください。

その場合、本用紙への貼付は不要です。

書類の提出方法については、学校の指示に従ってください。

★父母等からの給付額について

表面の申込者本人が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、当該者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○給付者（父母等）氏名【自署】_____ ○申込者との関係（続柄）_____

[千円単位：合計欄のみ1万円未満切捨て]

(2019年)

1月	千円	8月	千円
2月		9月	
3月		10月	
4月		11月	
5月		12月	
6月		合計	万円
7月			

[月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。]

**本年見込用
(表)**

本用紙は、「A3 サイズ 1 枚」により構成されています。前年（左面）の収入と本年（右面）の収入が変動しない場合、「本年」の記入は不要です。

収入計算書[本年見込（2020年1月～12月）用]

私は、日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、本年の収入に関する状況は以下のとおりであることを報告します。また、この収入計算書に基づき奨学金の申込み（「スカラネット」への入力）を行うとともに収入にかかる証明書（但し前年の収入から変動のある証明書のみ）を裏面に貼付（父母等からの給付額がある場合は裏面に記載）いたします。

【収入の状況】（A・Bの該当する方に、「○」を付けてください。）

A	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、 <u>変動はありません</u> 。	➡	・このページは記入不要。
B	本年見込の収入については、前年の収入金額に対して、 <u>変動します</u> ので、以下のとおり報告します。	➡	・1.2.の各項目を全て記入（前年と変動のない同じ項目も同じ金額を記入）。

[各項目 1 万円未満切捨て]

1. 本年(2020年1月～12月)の収入見込額			2. 申込者本人 1 人にかかる本年(2020年1月～12月)の支出見込額 [申告のみ：証明書類不要]	
	収入項目	収入額 (B)	支出項目	支出額
定職 (○)	定職 (本人)	(年額) 万円	日常生活費 (食費・住居費・光熱費等) (☆)	(年額) 万円
	定職 (配偶者) [該当者のみ]	(年額) 万円	授業料	(年額) 万円
アルバイト (○)	アルバイト 1	(年額) 万円	通学費 (定期代等)	(年額) 万円
	アルバイト 2	(年額) 万円	その他の費用 (書籍費・遊興費・課外活動費 等)	(年額) 万円
	アルバイト 3	(年額) 万円	支出見込額合計 (※)	(年額) 万円
	父母等からの給付額 (★)	(年額) 万円	[記入時の注意事項] ◎複数あるために欄が不足する場合は、合計額を記入（アルバイトは 1・2 に記入後、3 に残りをまとめて記入）。ただし、証明書類は全て提出してください。 ★計上する場合、本年見込用裏面に月別内訳を可能な限り記入してください。また、父母等給付者の自署が必要です。 ☆自宅通学者は、世帯一人当たりの経費（世帯年間経費／家族人数）を記入してください。	
	奨学金 (申込中の奨学金は除く)	(年額) 万円		
	・その他の収入(利子・配当・不動産・年金等の公的手当・預貯金の取崩し等)	(年額) 万円		
イ	収入見込額合計 (※)	(年額) 万円		

※「収入見込額合計」≧「支出見込額合計」とならない場合は、その事由を記載してください。
収入額合計は、0 万円にならないよう記入してください。

事由

※2021年1月～2月に申し込む場合でも「本年」は2020年となります。

[裏面に前年の収入から変動のある証明書のみ貼付]

本年見込の収入について、前年と変動しない場合、この面の記入は必要ありません。

本年見込用
(裏)

証明書類貼付欄

〔前年の収入から変動がある証明書のみ貼付〕

- ・証明書類は、この欄に本紙と上下の向きをそろえて、ホチキスで上部 2 点を留めてください。
- ・収入年額の推算が必要な場合は、下部スペースに計算式を記入し、推算した年額を表面記入欄に記入してください。

学校指定の様式がある場合は、そちらに貼付してください。

その場合、本用紙への貼付は不要です。

書類の提出方法については、学校の指示に従ってください。

★父母等からの給付額について

表面の申込者本人が日本学生支援機構の奨学金を申し込むにあたり、当該者本人への給付額については、以下のとおりであることに相違ありません。

○給付者（父母等）氏名【自署】_____ ○申込者との関係（続柄）_____

[千円単位：合計欄のみ 1 万円未満切捨て]

(2020年)

1 月	千円	8 月	千円
2 月		9 月	
3 月		10 月	
4 月		11 月	
5 月		12 月	
6 月		合計	万円
7 月			

[月別に記入できない場合は、年額のみを合計欄に記入してください。]

前年用と本年見込用を同一の位置とは左右反転に注意してください。